

自然と歴史

日御碕には、日本一高い、石造りの灯台があります。これは、建てられて1世紀以上経つ、高さ約44メートルの白い塔です。観光客は灯台をのぼって海岸線の雄大な眺めを楽しむことができます。日御碕の辺りの海岸は、柱状節理と呼ばれる六角形の形の岩があります。柱状節理とは、火山性溶岩が流れて冷却され、収縮するときに見える、密集し交差した割れ目のある地質構造のことです。日御碕の沖にある岩だらけの海岸や入江は人が簡単には入れないため自然が残り、中でも経島はウミネコの重要な繁殖地になっています。この鳥は、11月下旬から12月上旬にやって来て、7月中旬までこの島に留まります。さらに、長年に渡って、経島は重要な聖地であるとみなされ、古代より人間は立ち入りを禁じられています。

鮮やかな朱色に塗られた日御碕神社は、天照大神を祀っています。日御碕では夕日は神聖なものとみなされてきました。天照大神を祀っている社殿は夕日を象徴する社殿として考えられています。御幸神事という年に一度の夕日崇拝の祭りが今なお催されており、日本独特の崇高な自然崇拝を目の当たりにしながら海岸から美しい夕日を見ることができます。

アクティビティ

観光客は、日御碕の海岸沿いで海水浴、カヤック、シュノーケル、ダイビングなどを体験して、地元の食堂でおいしい海鮮丼を堪能することができます。そのほか、灯台にのぼったり、海岸沿いを散歩して経島の壮大な景色を楽しんだり、柱状節理の崖を眺めたり、日御碕神社を訪れたりすることができます。これらの沿岸の景色は、特に日没時に壮大です。